

セカンドライフセミナー開催

(県教組 社会保障等に関する学習会)



国の方針により、昨年度から年金支給が順次延長となりました。これにともない、多くの組合員から退職後の生活設計についての不安の声を最近耳にします。県教組では、そのような組合員の皆さんの不安を少しでも解消し、今後の生活設計に役立てていただくため、恒例の「セカンドライフセミナー」を開催しています。本年度は、7月16日(土)、午前には嶺北会場(教育センター)、午後には嶺南会場(敦賀プラザ萬象)にて行いました。



吉田泰平氏の講演



竹野執行委員長の挨拶

大変厳しい暑さの中、嶺北74名、嶺南23名の合計97名の参加をいただきました。講師には、ファイナンシャルプランナーの吉田泰平氏を東京の教職員共済本部よりお招きしました。先生は、退職後の進路によって備え方が変わることやライフスタイルに応じた備えの重要性など、様々なことを教えてくださいました。特に、参加された方は退職金や退職後の保険について関心が高かったようで、時折、会場にどよめきが起こったり、お隣の方と熱心に確認しあう姿が印象に残っています。組合員の皆さまには、今後の生活設計のお役にたっていただけることを切に望んでおります。ご参加ありがとうございました。



参加者の感想より

- 思っていたより厳しい現実が待っていることを知り、「備え」が十分に必要だと学びました。
- ポイントをおさえた分かりやすい説明と資料でよく理解できました。
- 早期退職がいろんな意味で不利であるとあらためて知ることができました。
- 今後、金銭的に厳しくなるので、何年も前から知っておく必要があると思いました。
- 退職後の1年間で200万円ほど必要ということを知りました。
- 住宅ローンの残金を一括で払おうと思っていましたが、そうしないほうがよいというところは興味深かった。